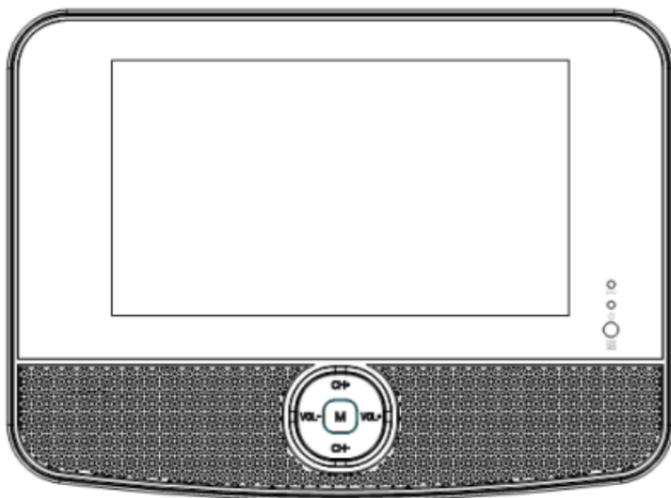
地上波デジタル対応　防水テレビ

型名　*KH-BDT701*

取扱説明書

最終ページ保証書付

Ver：1.0.0

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

◆ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、本製品を安全に正しくお使いください。

◆お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

◆保証書に販売店名、お買上げ日などが記入されていることを必ずお確かめください。

1：目次

2:はじめに

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用していただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり正しくご使用ください。
本取扱説明書の最終ページに製品保証書が付いております。本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。
本取扱説明書の製品図・イラスト・画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
※本製品における二次的破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

【セット内容】

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら販売店またはサポートセンターまでお問い合わせください。また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。

●専用防水タイプリモコン　×1
●専用AC電源アダプター　×1
●MINI B-CASカード　×1
●取扱説明書　×1
●専用AVケーブル　×1
●専用ロッドアンテナ　×1
●アンテナ中継ケーブル(長さ:10M)　×1
●ボタン型電池CR2025(リモコン動作確認用)　×1

【使用上の注意】

●本製品のAC電源アダプターの電圧がコンセントの電圧と合っているかを確認してください。
●クリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
●長期間使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。
●直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。変形や故障の原因となります。
●静電気の多い場所やほこりの多い場所での使用はおやめください。また、長期間水のかかる場所や、水没する場所でのご使用はおやめください。ショートによる故障や感電の原因となります。
●分解や改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解や改造が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
●落としたり、踏んだり、加重や衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、電源アダプターをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
※お問い合わせ先は本書巻末、及び保証書に記載してあります。
●USB端子は、ストレージ以外の製品(通信用装置など)を接続して使用することはできません。またストレージであっても、USBからの電力で駆動する機器は消費電力が大きすぎるため使用できない場合があります。
●液晶パネルは高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。
これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
●小さなお子様がご使用される場合には本製品の取扱を十分に理解した大人の監視、指導のもとでご使用願います。
●スピーカーの穴(音孔)に異物を入れたり針などの細いもので突きさしたりしないでください。
異物で音が小さくなったり、ひすむなど故障の原因になったりスピーカーや内部が破損することがあります。
また、防水効果がなくなり故障の原因になることがあります。

3:安全上のご注意

ご使用の前に

商品及び取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表示	表示の意味
⚠ 警　告	＊1 “取扱を誤った場合、人が死亡、または重傷を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注　意	＊2 “取扱を誤った場合、人が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。 ＊3

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

＊3：物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
⚠ 注意	注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

【異常を感じたとき】

⚠警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店またはサポートセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサポートセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサポートセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店にまたはサポートセンターに交換をご依頼ください。

【使用するとき】

⚠警告

●修理・分解・改造しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサービスセンターにご依頼ください。

●内部に異物を入れたり、スピーカーの穴に針などで突き刺したりしないこと

異物挿入禁止

針やクリップなどで穴があいたり内部に入ったりした場合、故障、感電、火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本機や電源プラ グに触れないこと

接触禁止

火災や感電の原因となります。

●本機を水のかかるところで使用するときは、カード/端子ふたを確実に閉めること

水ぬれ禁止

故障、感電、火災の原因になります。飲み物をこぼしたり、雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

●通電中、本体の背面に長時間ふれないこと

接触禁止

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因になります。

3:安全上のご注意 つづき

⚠注意

●液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込 んだり飲んだりしないこと

禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

●電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること

指示

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

【設置するとき】

⚠警告

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと

禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

●風呂やシャワー室などご使用の際は長時間水がかかったり水没の恐れのある場所には置かないこと

禁止

故障、感電、火災の原因となります。

⚠注意

●温度の高い場所に置かないこと

禁止

直射日光の当たる場所、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります・

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しないこと

禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機の移動させる場合は、AC電源アダプターやその他外部接続線をはずすこと

指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

【AC電源アダプターについて】

⚠警告

●AC電源アダプターを分解、改造 、修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。

● AC電源アダプターは付属のものを使用すること

禁止

指定以外のAC電源アダプターを使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

●アダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
- 引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
- 無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと

指示

火災・感電の原因となります。

●時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること

指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

注意

●ぬれた手でAC電源アダプターを抜きさししないこと

指示

感電の原因になります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

●付属のAC電源アダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

●電源プラグはコンセントの奥まで確実にさし込むこと

指示

確実にさし込んでいないと、火災・感電の原因となります。

4：使用上のお願い

【取扱いについて】

●液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
●引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
●殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
特に背面部は長時間肌に触れたり、放熱部をおおったりしないでください。
●ふだん使用しないときは電源を切っておいてください。
●長期間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

【置き場所について】

●本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所や傾いている所で使わないでください。故障の原因となります。
●直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
●振動のある場所に置かないでください。振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

【お手入れについて】

●本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

【本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき】

● mini B-CAS（ビーキャス）カードの登録廃止、登録名義変更などについては、

B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

お問い合わせ先：カスタマーセンター　TEL:0570-000-250

●廃棄時に下記のご注意願います。

家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

【免責事項について】

●地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、そのほかの事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

●取扱説明書記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

●誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。

●故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめにご了承ください。

お知らせ

●本機のキャビネットなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ（ケミカルストレスクラック）の原因となる物もあります。
「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。

【結露(露付き)について】

結露(露付き)とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを"結露(露付き)"といいます。同じような現象として、製品内部の部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

●結露に注意する
・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき
・夏季に冷房のきいた部屋などから急に温度、湿度の高い場所に移動したとき
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

●結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する
結露がおきた状態で本機を使用すると、各メディア(SDカードやUSBメモリー)や部品を傷めることがあります。本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

【メモリーカードについて】

●メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。

●大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

●通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらす当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●メモリーカードを本機にさし込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりとさし込んでください。

●メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

●メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。

●強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。

●高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。

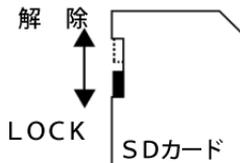
●メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。

●メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。

●直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。

●本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。

●メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

●たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

【テレビ受信について】

●ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合はスキャン操作をしてください。
スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行う設定です。
●スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局がかわる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
●本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。
海外ではご使用になれません。
●建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。
●バスルーム等で窓の無い仕切られた部屋では、電波が入りにくい場合があります。
また、湯気(水蒸気)により電波が受けにくくなる場合もございます。
※電波が入りにくい場合は、アンテナの位置を変えるか、アンテナ中継ケーブルをご家庭の壁のアンテナ端子に接続してお使いください。

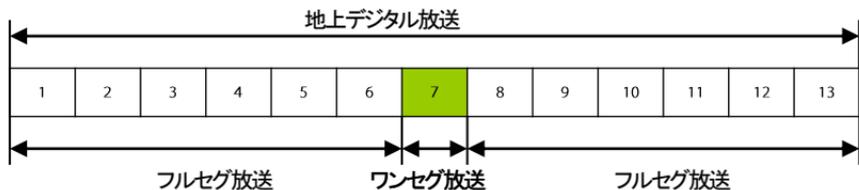
地上デジタル放送(フルセグ放送)について

地上デジタル放送は地上のUHF放送(13～62ch)の周波数帯域を使った放送です。
地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割しそのうち12個のセグメントを利用してフルセグ放送をしています。最新のデジタル技術により高画質ハイビジョン放送、多チャンネル放送が可能です。さらに音声信号を効率よく圧縮して送ることにより原音に近い高音質な音が楽しめます。

※本製品は地上デジタル放送の双方向通信、データ放送サービスには対応しておりません。

ワンセグ放送について

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。
地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。

詳しくは社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)をご覧ください。
放送エリアのめやすは(http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA_B/)にてご確認いただけます。

フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも
受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

地上デジタル放送視聴中のご注意

●地域により受信可能な放送局は異なります。必ずご使用する地域で放送局のスキャン操作を行い受信できる放送局を設定してください。
放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承願います。
●移動中に電波が弱いエリアに入ると音声や映像が乱れたり、画像の静止、黒い画面になることがあります。デジタル放送の場合、アナログ放送のように乱れた映像でもかろうじて視聴できるというような状態にはなりません。アンテナ角度の調整や電波状態の良い場所に戻ることで改善されます。
●デジタル放送の場合、実際の時刻と番組にタイムラグ(時間のずれ)が発生します。
正確な時刻どおりに番組が始まらない等は、放送特性上のものであり機器の故障ではありません(数秒の遅れが発生します)。

5:防水について

【本製品の防水について】

本製品は、JIS C 0920 (IEC 60529)「電器機械器具の外郭による保護等級
(IPコード)」のIPX6相当の防水仕様となっています。

＜＜IPX6 (噴流に対する保護等級)＞＞
本製品から2．5～3m離れて、内径12．5mmのノズルであらゆる方向から約100
リットル／分の水を3分以上注水したあと、機能が動作すること。

※真水、水道水に対応しています。石けん水、シャンプー、洗剤、入浴剤、温泉水、
プールの水、海水等不純物が含まれた水には対応していません。
※温水には対応していません。

【防水についての注意】

水のかかるようなところで使用する際は、下記の点に注意してお使いください。

●両サイドにあるカード、端子類のふたはしっかりと確実に閉じる。
●ACアダプターを接続して使用しない。
●アンテナはロッドアンテナを使用して、しっかりと固定する。
付け替えもおこなわない。
●アンテナ変換ケーブルを使用する際は水がかからないところで使用する。
●イヤホン(ヘッドホン)は使用しない。
●SDカードやmini-BCASカードの抜きさしは行わない。
●ぬれた手でふたの開閉や、製品に水滴が付いたままの状態でのふたの開閉は行わない。
●石けん水やシャンプーなどの液体をかけない。
誤ってかかった場合は、 速やかに洗い流し、柔らかい布のようなものでふく。
※ドライヤーなどの熱風で乾かさないこと。
●浴室など湿気の多い場所に放置しない。
使用後は、柔らかい布のようなもので水滴をふきとり浴室から持ち出して室内に置いてください。
●サウナで使用しない。
●寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない・
本機が冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、つゆつきが起こり、本機
内部に水滴が付くことがあります。
●水の中に入れない。

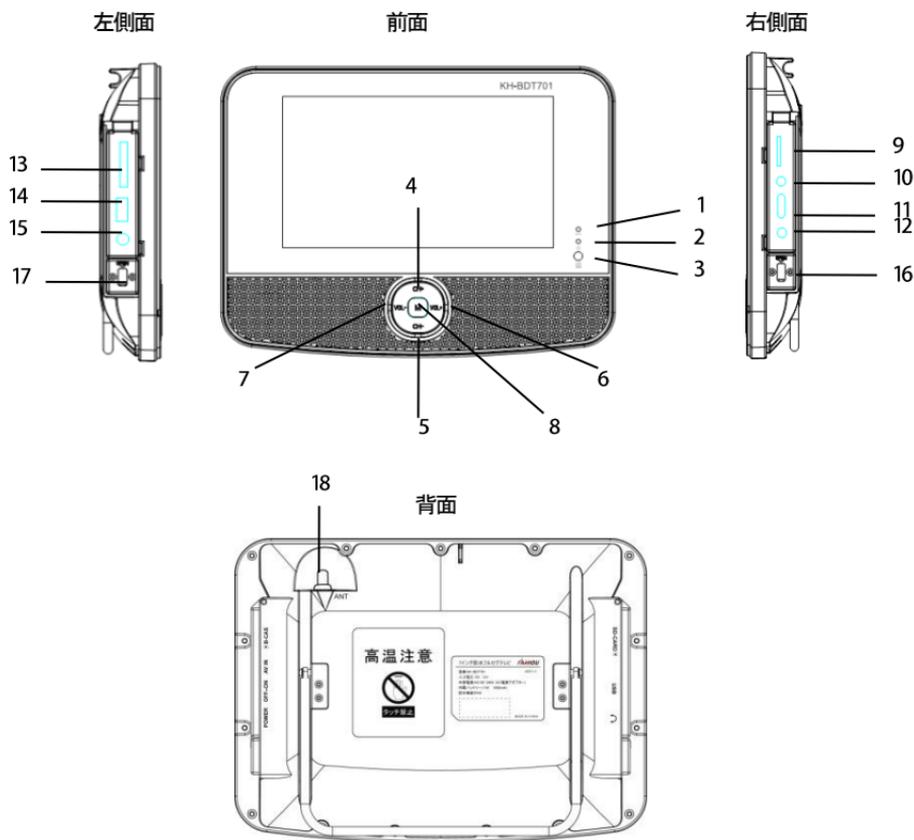
【防水性を保つための注意】

製品の防水性を保つために、下記の点に注意してお使いください。

●本製品をぶつけたり、落とすなど、変形するような強い圧力をかけない。
●両サイドのふたにあるゴムパッキンが浮いたり、ごみ、糸くず、毛髪などの異物が付着していないことを確認する。
●水滴が付いた状態で保存しない。
（乾いた柔らかい布で力をかけずにふいてください。）
●汚れがひどいときは、水に浸した布を絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。
※ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室／浴溝洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので、使用しないでください。

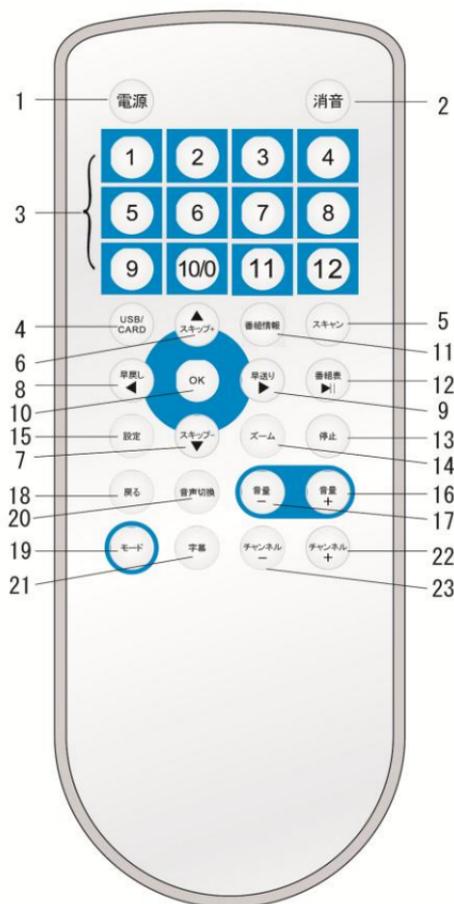
ご注意
万一、本製品に水が入った場合は販売店もしくはサポートセンターにご相談ください。
お客様の誤った取扱いが原因の浸水による故障の場合は保証対象外となります。

6:本体・リモコン各部名称・機能

【本体各部名称】

1:充電表示
2:電源表示
3:リモコン受光部
4:チャンネル+(CH +)
5:チャンネル―(CH -)
6:音量を上げる(VOL+)
7:音量を下げる(VOL -)
8:モードボタン(M)
9:B-CASカード差込口(B-CAS)
10:AV IN差込口(AV IN)
11:電源スイッチ(ON-OFF)
12:電源入力端子(POWER)
13:SDカード差込口(SD - CARD)
14:USB差込口(USB)
15:イヤホン端子(🎧)
16:右開レバー
17:左開レバー
18:ロッドアンテナ接続端子(ANT)

【本体の各部機能】

No.	名称	表示	機能
1	充電表示	CHG	充電中は赤、フル充電時は緑で点灯
2	電源表示	⏻	電源スイッチがOFFで消灯、ONで点灯
3	リモコン受光部	—	リモコン受光部
4	チャンネル＋	CH ＋	CH＋ボタンを押すと、次のチャンネルに切り替わります。
5	チャンネルー	CH −	CHーボタンを押すと、前のチャンネルに切り替わります。
6	音量＋	VOL+	音量＋ボタンを押すと音量が上がります。
7	音量ー	VOL −	音量ーボタンを押すと音量が下がります。
8	モードボタン	M	下記モードを切り替えます。 TV/AV　IN（音声ビデオ入力）/MEDIA
9	B-CASカード差込口	B-CAS	地デジ（フルセグ）用のminiB-CASカードを挿入します。未挿入ではフルセグ画像はご覧になれません。
10	AVIN差込口	AV　IN	AV ケーブルを接続します。
11	電源スイッチ	0N-OFF	電源のON/OFFを切替ます。長時間使用しない時は本体側の電源スイッチをOFFにしてください。
12	電源入力端子	POWER	専用AC電源アダプター(12V)の入力端子です。
13	SDカード差込口	SD-CARD	再生用ファイルが書き込まれたSDカードを挿入します。
14	USB差込口	USB	再生用ファイルが書き込まれたUSBメモリーを挿入します。
15	イヤホン端子	🎧	Φ 3.5ステレオミニジャック用のステレオイヤホンを挿入します。
16	右開レバー	—	下にスライドでパネルカバーのロックが解除されます。閉じるときはカバーを押します。
17	左開レバー	—	下にスライドでパネルカバーのロックが解除されます。閉じるときはカバーを押します。
18	ロッドアンテナ接続端子	ANT	ロッドアンテナを接続します。

【リモコンの各部名称】

1：電源ボタン
2：消音ボタン
3： 数字ボタン（1～9、10/0、11、12）
4：USB ／CARD切替ボタン
5：スキャンボタン
6：スキップ + ボタン (▲)
7：スキップ − ボタン (▼)
8：早戻しボタン（ ◂ ）
9：早送りボタン（ ▸ ）
10：決定ボタン（OK）
11：番組情報ボタン
12：番組表ボタン
　再生/一時停止ボタン
13：停止ボタン
14：ズームボタン
15：設定ボタン
16： 音量+ボタン（音量を上げる）
17：音量−ボタン（音量を下げる）
18：戻るボタン
19：モードボタン
20：音声切換えボタン
21：字幕ボタン
22：チャンネル＋ボタン
23：チャンネルーボタン

【リモコンの各部機能】

No.	名称	表示	機能
1	電源ボタン	電源	電源のON/OFFを切替ます。 ＊本体の電源をOFFにすると、リモコンの操作はできません。 本体の電源をONにしてからリモコンをご使用ください。
2	消音ボタン	消音	一時的に音を消します。 もう一度押すことにより元に戻ります。 ＊電源ボタンをオフすると消音設定は解除されます。
3	数字ボタン	1～9、 10/0、 11、12	チャンネル選択等で数字を入力します。 (12)ボタン：【MEDIAモードのMV/MP3時】、ランダム、シングル再生、シングルリピート、フオルダーリピート、フオルダー再生、シャッフルを選択できます。
4	USB/CARD切替ボタン	USB/CARD	【MEDIAモード時】 USB、SD（MEDIA）の選択をします。方向ボタン（▲▼）で選択し、決定ボタンで決定。 MEDIA名が表示されます。 USB、SDカードが認識されないときは“デバイスがありません” と表示されます。 本機の初期値としてUSBが選択されます。
5	スキャンボタン	スキャン	【TVモード時】 チャンネルのスキャンを開始し、受信可能な放送局を探し出します。
6	スキップ+ボタン	▲ スキップ+	メニューの項目やファイルの選択をします。
7	スキップ-ボタン	スキップ－ ▼	メニューの項目やファイルの選択をします。
8	早戻しボタン	早戻し ◀	【MEDIAモード時】 早戻し再生をします。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。
9	早送りボタン	早送り ▶	【MEDIAモード時】 早送り再生をします。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。

【リモコンの各部機能】

No.	名称	表示	機能
10	決定ボタン	OK	メニュー項目などの決定して実行します。
11	番組情報ボタン 再生／一時停止 ボタン	番組 情報	【TVモード時】 チャンネルリスト画面を表示します。 戻るボタンで前画面に戻ります。
12	番組表ボタン	番組表	【TVモード時】 番組表を表示します。 戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。
13	停止ボタン	停止	【MEDIAモード時】 再生中に一回押すと一時停止します。
14	ズームボタン	ズーム	【MEDIAモード時】 **動画を再生する場合**： 動画シーンを拡大／縮小します。 倍数は2x、3x、4x、1/2、1/3、1/4です。 **写真を再生する場合**： 下記手順で静止画を拡大／縮小します。 (1)ズームボタンを押します。 (2)チャンネル+ボタンで拡大します。 (3)チャンネル-ボタンで縮小します。 倍数は100%、125%、150%、200%、50%、75%です。 ※ズームインしたときに、方向ボタン（▼▲◀▶）を使用すると画面が移動できます。 ※停止ボタンで前の画面に戻ります。
15	設定ボタン	設定	**【MEDIAモード時】** 基本設定、デジタル設定、映像設定、選択設定のページが表示され方向ボタン（◀▶）**で選択し、方向ボタン**（▼▲）で下位メニューを選びます。 **【AV INモード時】** ブライトネス、コントラスト、色合い、飽和度、リセットのページに、方向ボタン（◀▶）で数字を設定できます。 （詳細説明31-33ページ） **【TVモード時】** 設定メニューが表示され、方向ボタン（▼▲）でメニューを選びます。 （詳細説明25-29ページ）

【リモコンの各部機能】

No.	名称	表示	機能
16	音量＋ボタン	音量＋	音量が上がります。
17	音量ーボタン	音量-	音量が下がります。
18	戻るボタン	戻る	**【TVモード、AV INモード時】** 前の画面に戻ります。 ※MEDIAモード時は停止ボタンで前の画面に戻れます。
19	モードボタン	モード	下記モードを切り替えます。 TV/AV　IN(音声ビデオ入力)/MEDIA
20	音声切換ボタン	音声切換	**【TVモード時】** 切替可能な音声を選択します。 選択音声は番組によって異なります。
21	字幕ボタン	字幕	**【TVモード時】** この設定をONにすると、チャンネルに字幕情報が含まれている場合に字幕を画面上に表示します。 *この機能は字幕情報付番組に対応。
22	チャンネルボタン+	チャンネル＋	**【TVモード時】** チャンネル＋ボタンを押すと一つ上のチャンネルに切替ます。
23	チャンネルボタン-	チャンネルー	**【TVモード時】** チャンネルーボタンを押すと一つ下のチャンネルに切替ます。

ご注意

リモコンおよび本体の準備、装着、接続等の作業をする場合は、のかかる場所での使用や、本体や手がぬれた状態ではおこなわないでください。

【リモコンの準備】

リモコン背面

開ける

閉める

電池蓋

①付属の専用オープナーで矢印の向き方向へ電池蓋を回して、電池蓋を開きます。

②電池蓋を取り外してください。

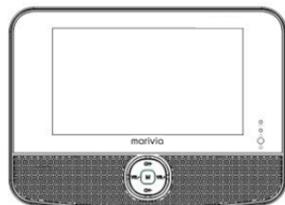
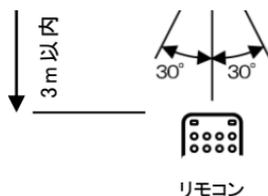
③付属のボタン型電池を正しく入れてください。

④電池蓋を①の反対方向にまわして閉める。
電池蓋が確実に閉まっていることを確認してからご使用ください。

[注意]:ボタン型電池について
※付属リモコン用の電池は、ボタン電池(CR2025)一個使用です。
※製品付属のボタン型電池は動作確認用になります。通常ご使用分は、別途ご用意ください。
※長期間本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して保管してください。

【リモコンの操作範囲】

画面に対し垂直に向けて
操作してください。

距離:リモコン受光部から
3m以内
角度:リモコン受光部から
上下左右約30度以内

【ふた(端子用)の開けかた／閉めかた】

本製品は、防水対応のため、左右の端子にふたが付いています。ご使用時は水のかからないところでご使用ください。

ふたの開けかた

端子用のふたの開レバーを下にさげる。
ロックが外れ、ふたが開きます。
(左右とも同じ)
※ふたが開いた状態で水のかかるところでの使用や、ぬれた手でさわったりしないでください。

ふたの閉めかた

・端子につけたコードをはずしてください。
・miniBCASカードが確実に奥まではいっているか、SDカードを入れる場合は奥まで確実に入っているか確認してください。
・ゴムパッキン部に異物がないか確認してください。
・ふたをカチッとしっかり閉じます。
・閉めた後、浮いていないことを確認してください。
(左右とも同じ)

【スタンドのたてかた】

スタンドを立てて使用する場合、スタンドを矢印の方向に開き、安定した水平な場所に設置してください。お好きな角度で開くことにより、お好みの角度でご覧いただくことができます。

※スタンドを立ててお使いの際は、操作ボタンを押すとき、本体が倒れないように、ささえて操作してください。

【miniB-CASカードを入れる】

電源が入っていないことを確認して、
miniB-CASカードの表面を上にしてカチッと音がするまで奥にさし込んでください。
取り出すときは中央を奥まで押込み、離すと出てきますのでつまんで抜いてください。
※本製品に同梱されているminiB-CASカードは地上デジタルフルセグ放送を受信するときに必ず挿入してください。
登録の仕方や取扱いについてはカードが入っている説明書をご覧ください。
miniB-CASカードに関するお問い合わせ先は、カードが入っている説明書をご覧ください。

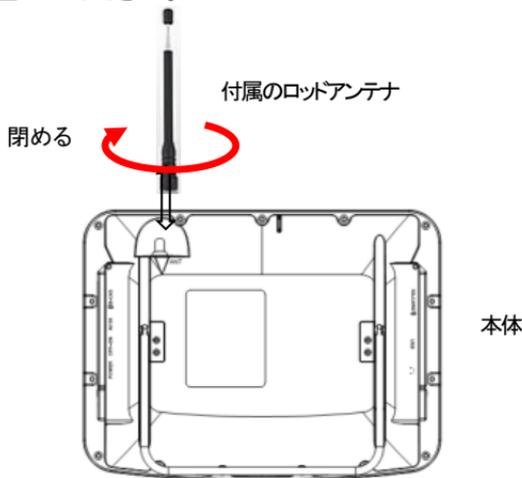
表面を上にしてさし込む

指先でカチッと押す

【アンテナの接続】

＜＜注意＞＞
水のかかる場所や、水滴の付いた状態でのアンテナの取付け、取外しは行わないでください。

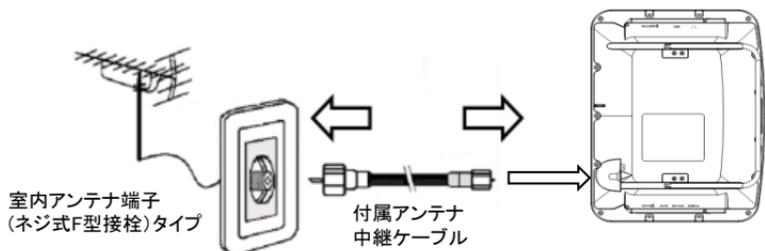
付属のロッドアンテナを使う場合

本体に付属の専用ロッドアンテナを接続し、窓際など電波の受信しやすい場所に置いてください。

付属ロッドアンテナのコネクターを本体上面のアンテナ入力端子にさし込み右回しにしっかりと固定してください。

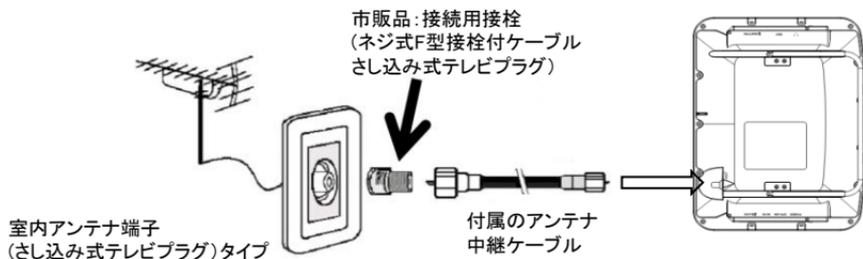
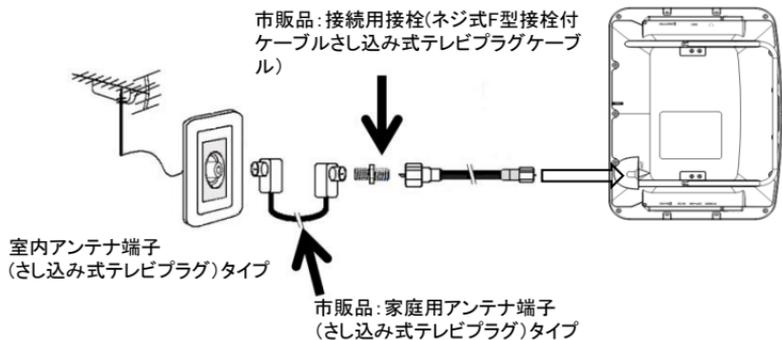
【室内用アンテナの接続】

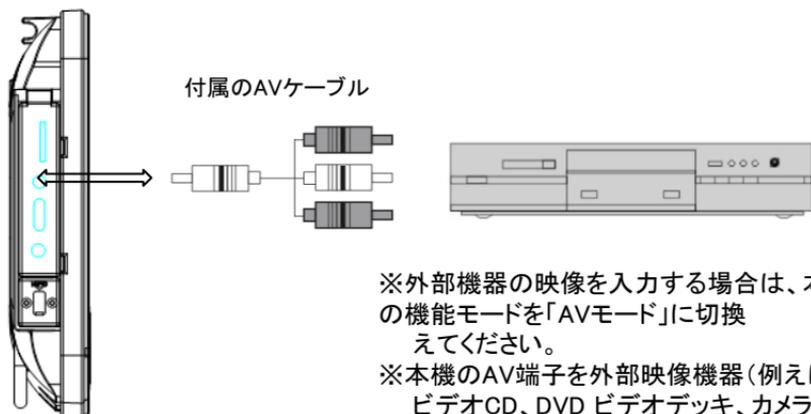
室内用アンテナ端子に接続して使う場合

①室内アンテナ端子が『ネジ式のF端子』の場合

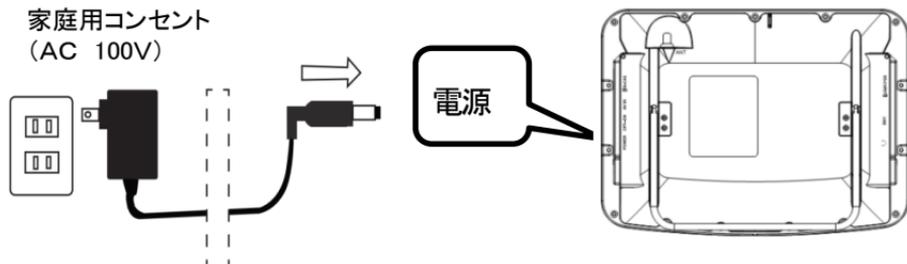
付属のアンテナ中継ケーブルを使用して接続してください。
本体側、アンテナ端子側ともにネジ式になっていますので回しにしっかりと固定してください。

②室内アンテナ端子が『さし込み式のテレビプラグ端子』の場合

付属のアンテナ中継ケーブルは直接、室内用アンテナ端子には取付きませんので、市販の接続用接栓や市販のアンテナコードを使用して接続してください。

②-1:室内アンテナ端子と付属アンテナ中継ケーブルを接続する接栓を使う場合

②-2、市販のケーブルと付属アンテナ中継ケーブル接続する接栓を使う場合

【AV端子への接続】

本製品にビデオデッキ、ビデオカメラ等の外部機器を接続し、接続機器側で再生している映像を本製品の液晶モニターに再生します。
付属のAVケーブルを使って本製品右側面のAV　IN端子と接続機器の出力端子を接続します。

※外部機器の映像を入力する場合は、本製品の機能モードを「AVモード」に切換
えてください。
※本機のAV端子を外部映像機器（例えば、ビデオCD、DVD ビデオデッキ、カメラ等）の映像端子と接続します。

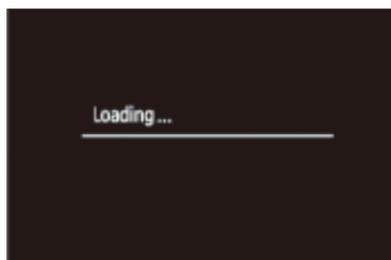
【電源の接続】

本体右側面の電源入力端子に付属のAC電源アダプターを接続してコンセントに接続します。

※長期間電源につなげたまま放置しないでください。未使用時は必ず製品本体からAC電源アダプターを取り外してください。（過充電防止）

8：TVモードで再生

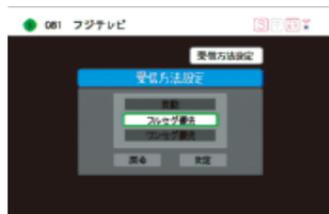
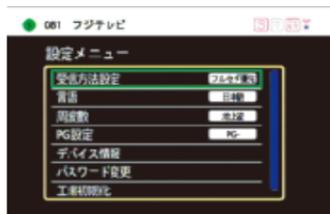
【初起動操作】

スキャン操作は初めて使用する時に必ず行う操作です。スキャンを行わないとテレビ放送を受信することができません。また、移動により放送エリアが変わった時にもスキャンをやり直してください。

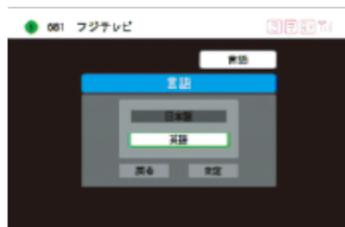
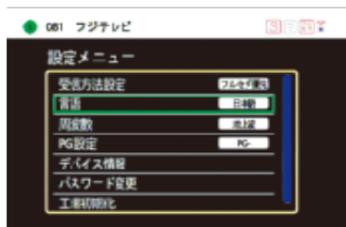
①mini B-CASカードを本体のB-CASカード差込み口に差し込んでください。
②電源を入れる。
③モードボタンでTVモードにする。
　＊電源が入力されると下記の画面が表示されます。

④リモコンのスキャンボタンを押して下さい。スキャンが開始します。
　現在地で受信可能な放送局を探し出し記憶します。
　※スキャン時は必ず受信環境が良いところで行ってください。
⑤スキャンが終了しましたら、リモコン等でお好みのチャンネルを
　選局してお楽しみください。

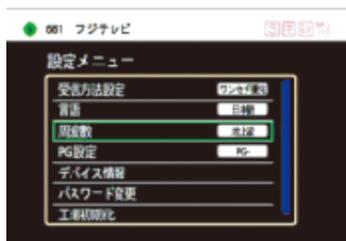
【テレビの設定メニュー】

受信方法設定
自動/ワンセグ/フルセグ切替動作の設定が出来ます。

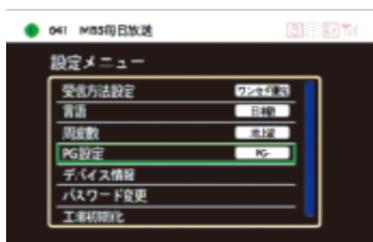
1、▲▼ボタンで設定メニュー項目の中から受信方法設定を選択し、決定ボタンを押すと、受信方法設定画面が表示されます。
2、▲▼ボタンで「自動」、「フルセグ優先」、「ワンセグ優先」の中から1つ選択し、決定ボタンで決定します。

自　　　　動：強電界地域ではフルセグを受信します。
　　　　　　　中/弱電界地域ではワンセグを受信します。
フルセグ優先：フルセグ電波優先で受信します。
ワンセグ優先：ワンセグ電波優先で受信します。

言語設定
設定メニューの日本語、英語の表示切替が出来ます。

1、▲▼ボタンで設定メニュー項目から言語を選択し決定ボタンを押すと、言語設定画面が表示されます。
2、▲▼ボタンで「日本語」、「英語」のどちらかを選択し、決定ボタンで決定します。

周波数設定
ケーブル(テレビ)、地上波切替動作の設定が出来ます。

1、▲▼ボタンで設定メニュー項目から周波数を選択し、決定ボタンを押すと周波数設定が表示されます。
2、▲▼ボタンで「ケーブル」、「地上波」のどちらかを選択し、決定ボタンで決定します。

ケーブル:ケーブルテレビ専用
地上波:地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるため、エリアによっては非常に小さい出力で開始されます。そのため、受信可能エリアが限定されます。
又、受信障害がある環境では、エリア内でも受信出来ないことがあります。

PG設定(ペアレンタルコントロール)
視聴制限機能

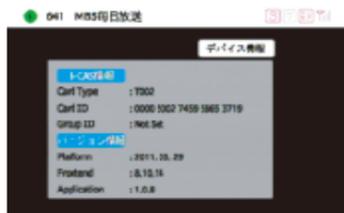
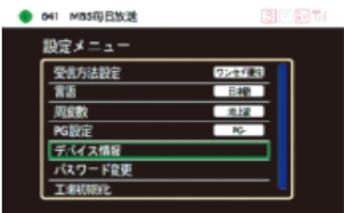
1、▲▼ボタンで設定メニュー項目からPG設定を選択し、決定ボタンを押すとパスワード画面が表示されます。
2、現在のパスワードを数字ボタンで入力し決定ボタンを押して決定します。PG設定画面が表示されます。

※パスワードの初期値は1111に設定されています。
※数字を間違えた場合は戻るボタンを押し、上の項目からやり直してください。

制限レベル（PG-、PG4～PG18）：
※数字の4～18は制限年齢の意味を表します。

暴力画面等を含む番組には、見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。本機では、どのレベルまで再生できるかを設定出来ます。適切な制限レベルは実際にお客様ご自身で動作させてご確認下さい。

デバイス情報

B-CAS情報及びバージョン情報の確認ができます。

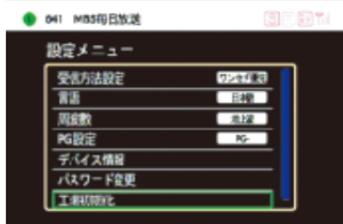
1、▲▼ボタンで設定メニュー項目からデバイス情報を選択し決定ボタンを押すと、デバイス情報画面が表示されます。

パスワード変更

パスワードを変更します。

1、▲▼ボタンで設定メニュー項目からパスワード変更設定を選択し決定ボタンを押すと、パスワード変更画面が表示されます。
2、現在のパスワードを数字ボタンで入力します。
3、新しいパスワードの入力欄に、数字ボタンで新しいパスワードを入力して、決定ボタンを押して決定します。
4、新しいパスワード再度入力して、決定ボタンを押して決定します。パスワードの変更は完了しました。

※パスワードの初期値は1111に設定されています。
※数字を間違えた場合は戻るボタンを押し、上の項目をやり直してください。
注意：パスワードはメモを取り、大切に保管してください。
※パスワードが判らなくなると、修理にお出しいただかない限りパスワードの変更や全設定消去が行えなくなりますので、変更する際は十分注意してください

工場初期化
工場出荷時の初期設定に戻します。

1、▲▼で設定メニュー項目から工場初期化を選択し、決定ボタンを押すと、パスワード画面が表示されます。
2、パスワードを数字ボタンで入力し決定ボタンを押します。
3、工場初期化画面が表示されます。

※パスワードの初期値は1111に設定されています。
※数字を間違えた場合は戻るボタンを押し、上の項目からやり直してください。

注意:
工場初期化されると、視聴制限のパスワードも初期化されますので、ご注意下さい。

【SDカード・USBメモリーの使い方】

※すべての接続を確認してください。電源スイッチをONにして、再生してみましょう。

■SDカード・USBメモリーを再生させる。

市販のSDカードやUSBメモリーにパソコンなどでいれた動画や音楽を再生させることができます。
①本製品の左側面にあるSDカードおよびUSBの挿入口に動画又は音楽の入ったSDカードもしくはUSBメモリーを挿入する。
②本製品の電源をいれる。
③モードボタンを押してMEDIAモードにした後、SD／USBにする。
④上下ボタンで挿入デバイスを選択し決定ボタンを押す。
⑤画面のメニューに従って再生したいデータを上下左右ボタンで選び決定ボタンを押す。
⑥画面のメニュー内容に従って再生をお楽しみください。

■再生可能な条件

本製品の再生可能なデータ形式は下記のとおりです。条件に従って記録してください。
記録方法は、レコーダーやパソコンなどの記録機器の取扱説明書をごらんください。

動画、音楽、写真の再生可能な詳細条件

	再生可能データフォーマット	画素（RGB）	ビットレート（kb/s）	フレームレート
動画	AVI	720×576以下	64kb/s	23fps
	DIVX	720×480以下	224kb/s	24fps
音楽	MP3		224kb/s以下	
	WMA		159kb/s	
写真	JPEG	6000×3900 以下		

※本機で再生可能な動画データは標準画質（SD）までです。HD画質の動画は再生出来ませんので予めご了承下さい。

10：設定ボタンの説明

モードボタンにてMEDIAに設定する時

MEDIAモードで再生時、設定ボタンでさまざまな再生設定、機能でお楽しみいただけます。
モードボタンにてMEDIAに設定してください。
1．リモコンの設定ボタンを押すと各々の設定メニュー画面が表示されます。
2．方向ボタン（ ◂又は▸ ）を押して
　（1）基本設定
　（2）デジタル設定
　（3）映像設定
　（4）選択設定
　のページを選び決定ボタンで決定します。
　（◂ ）ボタンで前の設定画面に戻すことができます。
3．次に（▼又は▲）ボタンで上下移動しメニューを選び、決定ボタンを押します。
4．決定したメニューからサブメニューの選択内容を▼又は▲ ボタンで選択し決定ボタンを押します。（ ◂ ）ボタンで前メニューに戻ります。設定メニューを終了するには設定ボタンを押します。

【（1）基本設定】

「基本設定」では
　◎画面サイズ
　◎画面表示言語
の設定ができます。

◎画面サイズ・・・16:9／4:3PS／4:3LBの切換
・4：3 PS （パンスキャンサイズ）：通常のテレビ（4：3）に接続した場合、ワイド画面（16：9）イメージは縦いっぱいに表示され左右の一部がカットされて再生します。
・4：3 LB （レターボックスサイズ）：通常のテレビ（4：3）に接続した場合、ワイド画面(16：9）イメージは上下に帯が入って再生されます。
・16：9 （ワイドサイズ）：ワイドテレビ（16：9）に接続した場合、ワイド画面（16：9）のディスクを再生した場合フル画面で再生します。水平方向にすべて画面が収まるように伸縮されて表示されます。
＊ファイルによっては画面サイズの変更ができない場合があります。

◎画面表示言語・・・英語（Eng）／日本語（JPN）の切換
　設定のページ画面に表示される言語の設定をします。

【（2）デジタル設定】

◎デュアルモノ設定
＊この機能は書類データ内容によって、対応できない場合もあります。

【(3)映像設定】

画質調整の設定行います。

◎画面設定・・・ブライトネス、コントラストの設定設定を選び(◀▶)ボタンでお好みの画質設定を選び決定ボタンを押します。

・ブライトネス・・・ -15～ 0 ～ +15
画面の明るさを調整します。(輝度調整)

・コントラスト・・・ -15～ 0 ～ +15
画面の明暗の差を調整します。

【(4)選択設定】

「選択設定」では
◎テレビタイプ
◎初期設定
の設定ができます。

◎テレビタイプ・・・PAL／AUTO／NTSCの選択設定
本機は、放送方式がNTSC方式とPAL方式と互換性があり、どのTV放送方式でも接続が可能です。NTSCのTVに接続した場合、再生ディスクがPAL方式であってもNTSC信号を出力します。(日本、韓国、台湾、米国、カナダなど)PAL方式のTVに接続した場合、再生ディスクがNTSC方式であってもPAL信号を出力します。(中国、ヨーロッパ、中東など)間違った選択をした場合画面が汚くなりますので正しく選択してください。
＊日本でご使用の場合はNTSCに設定されていることを確認してください。

◎ 初期設定
工場出荷時の初期設定に戻します。視聴制限のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。

モードボタンにてAV IN に設定する時

モードボタンにてAV INに設定してください。
1. リモコンの設定ボタンを押すと各々の設定メニュー画面が表示されます。
2. 方向ボタン(◀又は▶)を押して数字を設定できます。

・ブライトネス・・・ -15～ 0 ～ +15
画面の明るさを調整します。(輝度調整)

・コントラスト・・・ -15～ 0 ～ +15
画面の明暗の差を調整します。

・色合い・・・ −5〜 0 〜 +5

画面の色合いを調整します。（色合い調整）

・飽和度・・・ −5〜 0 〜 +5
画面の飽和度を調整します。（飽和度調整）

・リセット
方向ボタン（ ◀又は▶ ）を押してリセットできます。

11：主な仕様

製品名	7インチ防水液晶テレビ
製品型番	KH-BDT701
防水保護等級	IPX6相当
液晶サイズ	7インチ（16：9）
輝度	250cd/㎡（Typ.）
画質	800X3 RGBX480
視野角度	上下120度、左右140度
カラーシステム	NTSC
スピーカー	1.5W（8Ω）X2
映像入力	CVBS 1Vp-p（75Ω）
音声出力	1.4Vrms/10kΩ
受信周波数	470-770MHz（UHF13ch-62ch）
インターフェイス	USB2.0端子
入力電圧	DC12V
使用電源	AC100～240V（50/60HZ） （付属AC電源アダプター使用）
内蔵バッテリー	リチウムイオン充電式バッテリー （DC7.4V　1600mAh）
バッテリー充電時間	約3時間（フル充電時間）
バッテリー持続時間	約2時間
使用温度	-5～40℃
保存温度	-10～60℃
消費電力	11W
再生可能 メディア	SDカード/USBメモリー （最大16GBまで対応）
対応フォーマット	MP3、JPEG、AVI、DIVX
外形寸法	W225×H164×D33（mm）
本体質量	約695g

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

12：地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）

地域名	北海道		宮城		秋田		山形	
チャンネル番号 放送局名	1	北海道放送	1	東北放送	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	NHK総合	3	NHK総合	4	秋田放送	4	山形放送
	5	札幌テレビ放送	4	宮城テレビ放送	5	秋田朝日放送	5	山形テレビ
	6	北海道テレビ放送	5	東日本放送	8	秋田テレビ	6	テレビユー山形
	7	北海道文化放送	8	仙台放送			8	さくらんぼテレビ
	8	テレビ北海道						

地域名	岩手		福島		青森		関東広域	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	青森放送	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	3	NHK総合	4	日本テレビ
	5	岩手朝日テレビ	5	福島テレビ	5	青森朝日放送	5	テレビ朝日
	6	IBC岩手放送	6	テレビユー福島	6	青森テレビ	6	東京放送
	8	岩手めんこいテレビ	8	福島テレビ			7	テレビ東京
							8	フジテレビジョン
							9	MXテレビ
							12	放送大学

地域名	神奈川		群馬		茨城		千葉	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	テレビ神奈川	3	群馬テレビ	4	日本テレビ	3	千葉テレビ
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	5	テレビ朝日	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	6	東京放送	5	テレビ朝日
	6	東京放送	6	東京放送	7	テレビ東京	6	東京放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	8	フジテレビジョン	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	12	放送大学	8	フジテレビジョン
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学

地域名	栃木		埼玉		長野		新潟	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	とちぎテレビ	3	テレビ埼玉	4	テレビ信州	4	テレビ新潟
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	5	長野朝日放送	5	新潟テレビ21
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	6	信越放送	6	新潟放送
	6	東京放送	6	東京放送	8	長野放送	8	新潟総合テレビ
	7	テレビ東京	7	テレビ東京				
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン				
	12	放送大学	12	放送大学				

12：地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）つづき

地域名	山梨		中京広域		石川		静岡	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	東海テレビ放送	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	山梨放送	3	NHK総合	4	テレビ金沢	4	静岡第一テレビ
	6	テレビ山梨	4	中京テレビ放送	5	北陸朝日放送	5	静岡朝日テレビ
			5	CBC	6	北陸放送	6	静岡放送
			6	メ～テレ	8	石川テレビ	8	テレビ静岡
			10	テレビ愛知				

地域名	福井		富山		三重		岐阜	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	北日本放送	1	東海テレビ放送	1	東海テレビ放送
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	7	福井放送	3	NHK総合	3	NHK総合	3	NHK総合
	8	福井テレビ	6	チューリップテレビ	4	中京テレビ放送	4	中京テレビ放送
			8	富山テレビ	5	中部日本放送	5	中部日本放送
					6	名古屋テレビ放送	6	名古屋テレビ放送
					7	三重テレビ放送	8	岐阜放送

地域名	大阪		京都		兵庫		和歌山	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	毎日放送	4	毎日放送	3	サンテレビ	4	毎日放送
	6	朝日放送	5	京都放送	4	毎日放送	5	テレビ和歌山
	7	テレビ大阪	6	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ

地域名	奈良		滋賀		広島		岡山	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	毎日放送	3	びわ湖放送	3	中国放送	4	西日本放送
	6	朝日放送	4	毎日放送	4	広島テレビ放送	5	瀬戸内海放送
	8	関西テレビ	6	朝日放送	5	広島ホームテレビ	6	山陽放送
	9	奈良テレビ	8	関西テレビ	8	テレビ新広島	7	テレビせとうち
	10	読売テレビ	10	読売テレビ			8	岡山放送

12：地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考） つづき

地域名	島根		鳥取		山口		愛媛	
チャンネル番号 放送局名	1	日本海TV	1	日本海TV	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	NHK総合	3	NHK総合	3	テレビ山口	4	南海放送
	6	山陰放送	6	山陰放送	4	山口放送	5	愛媛朝日テレビ
	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	5	山口朝日放送	6	あいテレビ
							8	テレビ愛媛

地域名	香川		徳島		高知		福岡	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	四国放送	1	NHK総合	1	九州朝日放送
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	西日本放送	3	NHK総合	4	高知放送	3	NHK総合
	5	瀬戸内海放送			6	テレビ高知	4	RKB毎日放送
	6	山陽放送			8	高知さんさんテレビ	5	福岡放送
	7	テレビせとうち					7	TVQ九州放送
	8	岡山放送					8	テレビ西日本

地域名	熊本		長崎		鹿児島		宮崎	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	南日本放送	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	熊本放送	3	長崎放送	3	NHK総合	3	テレビ宮崎
	4	熊本県民テレビ	4	長崎国際テレビ	4	鹿児島読売テレビ	6	宮崎放送
	5	熊本朝日放送	5	長崎文化放送	5	鹿児島放送		
	8	テレビ熊本	8	テレビ長崎	8	鹿児島テレビ放送		

地域名	大分		佐賀		沖縄	
チャンネル番号 放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	大分放送	3	サガテレビ	3	琉球放送
	4	テレビ大分			5	琉球朝日放送
	5	大分朝日放送			8	沖縄テレビ

※受信障害がある環境では、エリア内でも受信出来ないことがあります。
※チャンネル番号はリモコンのチャンネル番号です。

13：困ったときは

保守サービスを利用する前に、もう一度次の項目をご確認ください。

症状	処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 電源スイッチがOFFになっていませんか？ バッテリーの充電が十分されていますか？
映像も音声も出ない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 電源スイッチがOFFになっていませんか？ 音量調整は最小になっていませんか？
映像は出るが、音声が出ない	音量調整が最小になっていませんか？ 「消音」状態になっていませんか？
映像が出ないなど表示がおかしい、また急にリモコンが操作できなくなった。	本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源プラグを抜いてください。約5秒以上後に再度電源を入れてください。 ※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源プラグを抜きさししてください。
リモコンが動作しない	本体の電源は入っていますか？ 電池が消耗していたり、接続不良になっていたり、電池の極性が違っていませんか？ 強い光がリモコン受信部に当たっていませんか？ リモコン受信部の前に障害物が置いてありませんか？
映像が出るまで時間がかかる	本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたときやチャンネルを切り換えたとき、映像が出るまでに少し時間がかかります。
テレビ局放送を受信できない	テレビ/ビデオ（モード切換）はテレビモードにしていますか？ アンテナケーブルの接続が正しく行われていますか？ 受信環境の良いところでアンテナを使用していますか？ 本機の操作が正しく行われていますか？
すべてのチャンネルに画面が色落ちしている	受信環境の良いところでアンテナを使用していますか？ アンテナケーブルがショートしていませんか？ アンテナケーブルが接続不良になっていませんか？ アンテナケーブルが破損していませんか？